
とある少女の複雑な感情

バナケソ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある少女の複雑な感情

【Nコード】

N3352L

【作者名】

バナケン

【あらすじ】

とある科学の超電磁砲の2次創作。

上条当麻と御坂美琴が才手も無くケンカするだけの話。

(前書き)

小説執筆歴ゼロの素人以下が勢いで書いた代物ですので
内容の稚拙さは多めに見て下さい^^;

一人の少年が歩いている。

少年はひどく憔悴しきった様子で、肩を落とし足取りも重い。

そして、消え入りそうな声で呟いていた。不幸だ…と。

その様子から、少年の一日は不連続きだったことが窺える。

時同じくして、一人の少女がその近辺を歩いていた。

少女はややそわそわしながらも、何かを探している様子が窺えた。

そして、前方から少年が歩いて来たことを確認するや否や、少年に駆け寄りつつ前に立ちふさがり、

「あなた！今日こそは決着を付けるわよ！」

と、何やら物騒なセリフを口走る。

しかし、少年は少女に反応することなく、その横を素通りしてしま
った。

わざと無視したのではなく、疲労が原因で気付けなかった様子だ。

無視される形となった少女はみるみるうちに顔を怒りで染め、

「ちょっと！いつもいつも無視してんじゃないわよっ！！」

振り向きざまに一閃の電撃を放つ。

「どわっ！？」

少年も振り返り、とっさに右手を前方に構える。

放たれた電撃は少年の右手に触れるや否や、何事も無かったかのようにならぬうちに消え去っていた。

少年は右手に電撃の直撃を受けたにも関わらず、ダメージを負った様子は無い。

数名の通行人が、この非現実的な光景を目の当たりにして呆気にとられてる。

「お、おまえはいつもいつも突然襲ってくるんじゃないやねえよ！」

「あんたが呼んでも返事しないからでしょうが！」

二人は続けて口論を始める。

その内容によると、どうやら2人は先ほどの非現実的な攻防を頻繁に行っているらしい。

言い争いの中で少年は、少女の顔にある変化が起きていることに気づき、顔を覗き込む。

「な、なによ突然、私の顔に何か付いてる!？」

「なあビリビリ、なんでお前はいつもこういうとき顔が赤くなってるんだ」

「なっ…!あ、あんたがいつもあたしを怒らせるからに決まってるからでしょうが!」

質問に対し、少女は明らかな焦りを見せていた。どうやら顔が赤いのは怒りのせいだと言いたいらしい。

「ていうか、ビリビリいうなって言ってるでしょうが!あたしには御坂美琴って名前が…!」

そして、名前ではなくビリビリ呼ばわれたことに対して激昂する。

いや、正確には話題を逸らしたと表現する方が正しいか。

結局この質問が日に油を注ぐ結果となり、少年は申し込まれた決闘に付き合う事では解放を許して貰えなかった。

不連続きで疲労困憊の身体を更に酷使するところになり、満身創痍で帰路につく少年。

そして大きな溜め息をつきつつ、再び呟く。不幸だ……、と。

少女が顔を赤らめた本当の理由に少年が気付くのは、そこからかなり先になりそうである。

(後書き)

突っ込みどころなど発見されましたら遠慮なく報告して下さい。

しかし小説書くのって思ったたより遥かに難しい…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3352/>

とある少女の複雑な感情

2010年10月22日00時58分発行